

メーデー宣言(案)

本日、私たちは第94回メーデー大分県中央大会を開催した。労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求する、メーデーの社会的意義は不変である。多様な仲間がつながること、団結することの重要性を再認識するとともに、再び多くの仲間が結集することができた、この喜びを皆で分かち合おう。

長引くコロナ禍や急激な物価高は、私たちの暮らし、とりわけ立場の弱い人々に大きな影響を与えている。持続的な賃上げや、有期・短時間・契約などで働く仲間の処遇改善、適正な価格転嫁、フリーランスをはじめ曖昧な雇用の課題解決、そして社会的セーフティネットの強化など、暮らしをまもる取り組みを最優先に進めよう。

あわせて、本年は関東大震災から100年となり、大分県内にも深い傷痕を残した熊本地震から7年が経過した。更には、2017年の九州北部豪雨や2020年7月豪雨など、気候変動に伴う大規模自然災害が頻発化・激甚化している。これら災害の記憶を風化させることなく、被災地の復興・再生と、その教訓を活かした防災・減災対策を進め、支え合い・助け合いの社会をつくっていこう。

国際社会に目を向ければ、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は未だ終結の兆しすら見えず、この間の北朝鮮のミサイル発射なども相まって、今この時も世界の平和が脅かされている。平和と秩序を武力で破壊する暴挙は断じて許されない。まもなく被爆地・広島で、核兵器保有国をはじめとする世界のトップリーダーが一堂に会する、歴史的なG7サミットが開催される。唯一の戦争被爆国として、核兵器の廃絶と恒久平和の実現、そしてそのための国際社会の結束を強く求めよう。

さらに、ミャンマー軍事政権による市民弾圧など、いまだに人類普遍の価値たる人権を脅かし、侵害し続ける国もある。今こそ私たちは、平和・人権・環境・労働が守られる、自由で民主的な世界の構築に向け、国際連帯を深めていこう。

すべての働く仲間が安心して働きくらすために、ジェンダー平等の実現はもとより、多様な価値観・背景を持つさまざまな人たちとの対話を進め、持続可能でよりよい世界、誰一人取り残されることのない社会、笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう。

以上、ここに宣言する。

2023年4月29日

第94回メーデー大分県中央大会

支え合い・助け合う社会をつくり、
笑顔あふれる未来をめざし、
力を合わせ、ともに進もう!

式典の部

(10:00~10:50)

1. 開 会
2. 実行委員長あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 来賓紹介
5. メーデー宣言採択
6. ガンバロー三唱
7. 閉 会

祭典の部

1. 大抽選会「当日抽選」
(11:00~11:30)
2. キャラクターイベント
(11:30~12:30)

受付配布の「抽選券」を切り取り
「抽選箱」へお入れください。
抽選箱は、受付へ設置しています。

締切は、ガンバロー三唱終了(10:45頃)まで!

- ☺ 仮面ライダー ギーツ ショー
- ☺ 写真撮影会

※事前の場所取りは出来ません、あらかじめご了承ください。

※大抽選会の進行状況により、開始時間が若干前後することがあります。

第94回メーデー大分県中央大会

日時:2023年4月29日(土・祝) 10時開会 会場:大分市「若草公園」

主催:第94回メーデー大分県中央大会実行委員会(事務局 大分市中央町4-2-5 ソレイユ6F連合大分内)



メーデーの始まり

8時間は労働に、8時間は休息に、 そしてあとの8時間はわれわれの自由に

メーデーは1886年5月1日、米国の労働者が「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自由な時間のために」を求めてストライキに立ち上がったのが起源です。当時、米国の労働者は長時間労働と低賃金に苦しめられ、労働時間の短縮は切実な要求であったのです。

これをきっかけに世界の労働者は5月1日を「国際的な団結の日」と定め、1890年5月1日、第1回国際メーデーが多くの国で開催されました。

日本では1920年(大正9年)5月2日、第1回メーデーが東京・上野公園で開催。それ以降、毎年開催されていました。しかし、軍国主義の高まりの中、1936年(昭和11年)の「2.26事件」を契機に、メーデーは全面禁止されました。

第二次世界大戦後、メーデーは労働組合の復活とともに再開。労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきています。

現在のメーデーは、米国の労働者が労働条件の改善を訴えたその想いを受け継ぎつつ、働く仲間とお互いをねぎらい、讃え合いながら、家族や地域のみなさんにも楽しんでもらえる一大イベントとして全国各地で開かれています。

連合は、5月1日を祝日にするよう求めています。

労働者自主福祉運動

1949年、戦後直後の深刻な食料危機と生活物資の不足から、生活物資の確保をめざして労働団体や生協などが集まって、現在の中央労福協の前身である「中央物対協(労働者用物資対策中央連絡協議会)」を結成したのが労働者自主福祉運動のはじまりです。

そのほか、銀行からの融資が受けられず、高利の質屋やヤミ金融で苦しんでいた労働者を守るために設立された労働者のための金融機関である「ろうきん(労働金庫)」、事故や災害などで影響を受けた際に協同的に助け合う「こくみん共済coop(全労済)」などが設置され、働く人による「共助」の取り組みを行っています。

お願い

- 会場内のマスク着用は個人の判断にゆだねます。
- 発熱等の症状がみられる場合には、参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。

会場MAP



- 車、バイク等でお越しの方、運転する予定のある方、未成年の方は試飲できません。
- 飲酒運転は絶対にやめましょう。

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO等の事業・プログラムへの支援を行っています。皆さまのご協力をお願い致します。

会場配列

事務局	ステージ
◇分退連	◇部活解放同盟大分県連合会
◇中部地域協議会	◇大分建労 ◇JAM ◇全水道 ◇佐伯重工業組
◇運輸労連	◇大分ふれあいユニオン ◇紙バ連合
◇JR連合	◇JEC連合 ◇連合大分ユニオン
◇私鉄総連	◇電力総連 ◇全電線
◇フード連合	◇電機連合 ◇労済労連
◇メテニア労連	◇自動車総連 ◇政労連 ◇全労金
	◇JP労組 ◇国公総連 ◇サービス連合
	◇情報労連 ◇JR総連 ◇大分県教育庁職組
	◇自治労
	◇日教組
	◇Uゼンセン ◇森林労連
	◇暴幹労連 ◇セラミックス連合